授業づくり研修講座　実践レポート

入谷小学校　　氏名　　石井　かおり

単元名　　第六学年　国語　　「お札にしたいあの人物」

実践のポイント（工夫）

・推薦する理由がはっきり伝わるような効果的な組み立てを考える。

実践内容

○これまでの日本のお札の肖像画になった人物について知り、推薦する人物を決める。

　　・どんな人物がふさわしいと思うか自分なりの条件を考える。

　　・その条件にあった人物を、身の回りにいる人や、本やテレビなどで知った人物、歴史上の人物などから選ぶ。

　　・その人物のよいところを考える。

○推薦の理由を書き出す。

　　・友達に納得してもらえるような理由を選んで書き出す。

○効果的な組み立てを考える。

　　・推薦する理由が伝わるような構成を考える。

　　・自分が考えたお札にふさわしい人の条件を初めに言う。

　　・人物名を先に言った方がいいか、理由を先に言ったほうが良いか。

　　・どの程度紹介をするのが効果的か

　　・資料や実物などを示す場合、いつ見せるのが効果的か。

　　　などについて考える。

○推薦発表会を開く。

　　・自分の考えがはっきり伝わるように、理由の示し方や話し方を工夫する。

　　・良いところや内容について意見を出し合う。

　　・どんな構成にするとより自分の言いたいことが伝わるかについて振り返る。

振り返り

お札の肖像画にふさわしい人物の条件を、意欲をもって考えることができていた。また、の中で取り組むことで子どもたちの「伝えたい」という気持ちが強くなっていった。また、最初に人物を紹介するか、最後に紹介するかにより、スピーチの印象がかなり変わってくることを知り、文章でその人物の良さを伝えるために文の構成や言葉の使い方を一生懸命に考えていた。また、同じ人物を選んでいても、構成によって大きく異なる印象になることに気づくことができた。